# データベース基礎(準備編)

## MariaDBを使ってみよう

#### MariaDBとは

MariaDB(マリアディービー)とはMySQLから派生したオープンソースの関係データベース管理システム (RDBMS)です。

MySQLと互換性があり、Googleにも採用されています。

また、多くのストレージエンジンを採用していることやスレッドプールが標準で利用できることも魅力の1つです。

#### 公式サイトからダウンロード

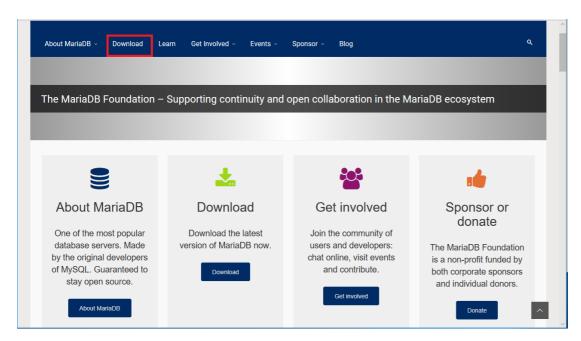
公式サイト(https://mariadb.org/)からダウンロードできます。

任意のブラウザを起動し、上記URLを入力してください。

今回はMicrosoft Edgeを使用しています。

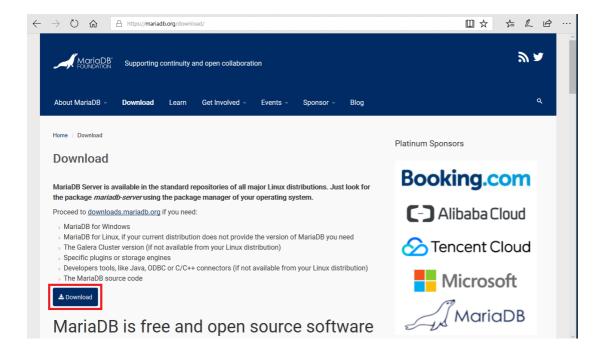
下記のページが表示されます。

ページ上段のメニューに表示されている「Download」をクリックしてください。



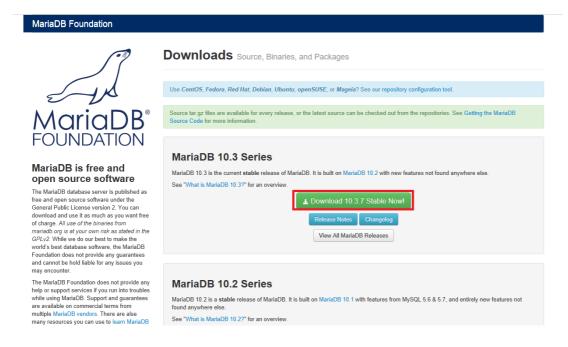
下記のページが表示されます。

ページ中央「Download」をクリックしてください。



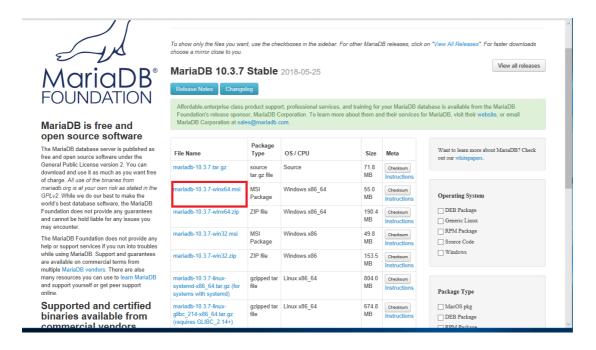
下記のページが表示されます。

ページ中央「Download 10.3.7 Stable Now!」をクリックしてください。



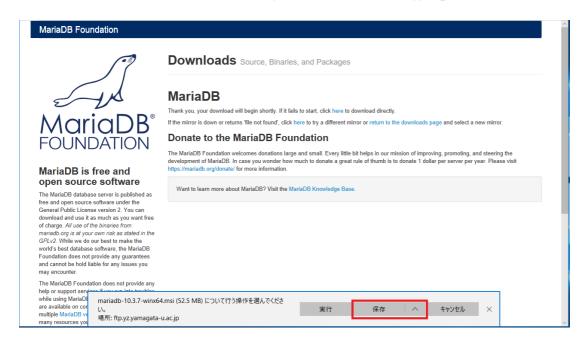
下記のページが表示されます。

このページでは「OS/CPU」からインストールしたいOSのMariaDBを選び、「File Name」をクリックして実行ファイルをダウンロードします。 今回は「Windows x64」、msiのインストーラをダウンロードします。



下記のページが表示されます。

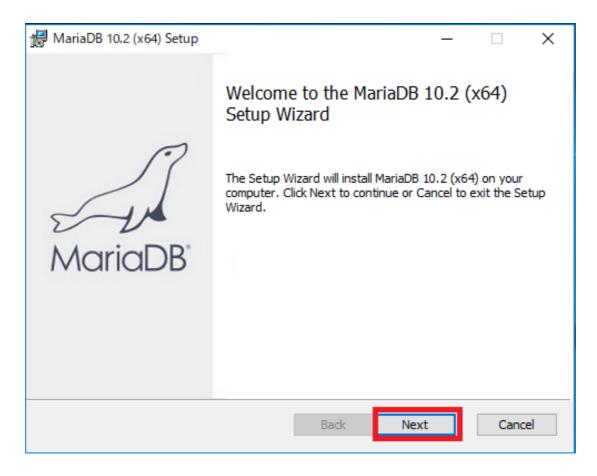
ブラウザによってはファイルに対する操作を要求されるので「保存」を選択してください



ダウンロードしたファイルを実行し、インストール作業を行ってください。

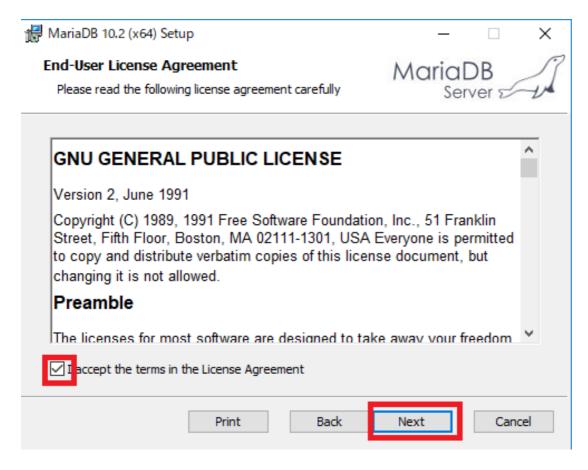
#### インストール

それでは、インストーラを実行し、インストール作業を行います。 実行すると初期画面が表示されます。 「Next」をクリックしてください。



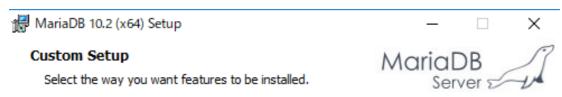
利用規約の画面が表示されます。

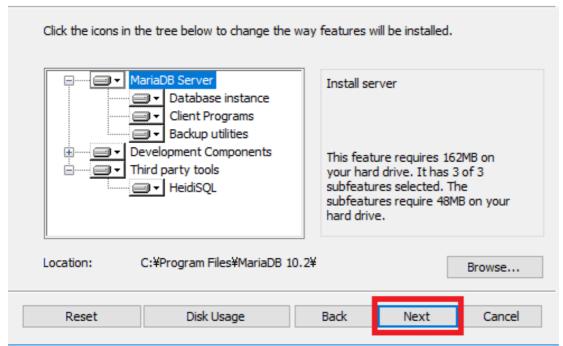
I accept the terms in the License Agreementにチェックをいれます。
「Next」をクリックしてください。



インストールするモジュール選択の画面が表示されます。 今回はこのままインストールを続けます。

「Next」をクリックしてください。



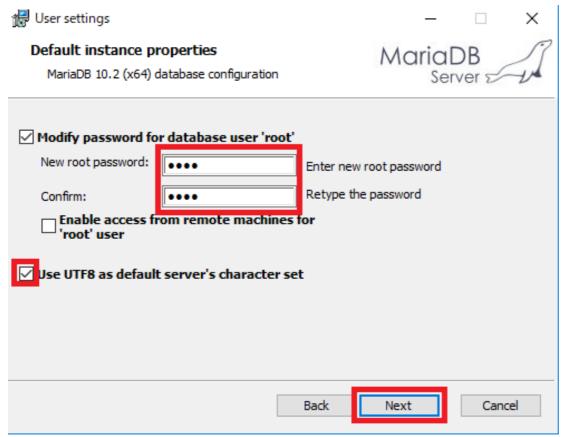


設定を行う画面が表示されます。

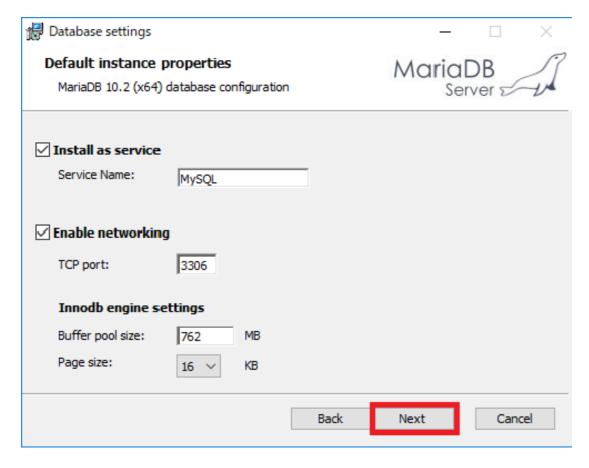
rootユーザーに任意のパスワードを入力してください。

確認用にもう一度パスワードを入力してください。

また、Use UTF8 as default server's character setにチェックを入れてください。
「Next」をクリックしてください。

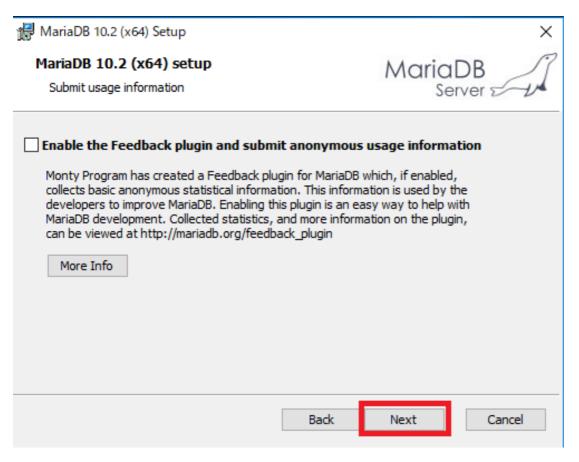


利用するサービスの設定画面が表示されます。 今回はこのまま続けます。「Next」をクリックしてください。

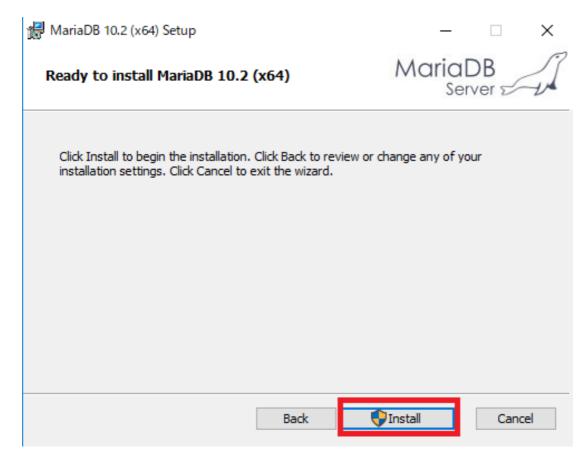


フィードバックプラグインの有効化の確認画面が表示されます。 今回はこのままで続けます。

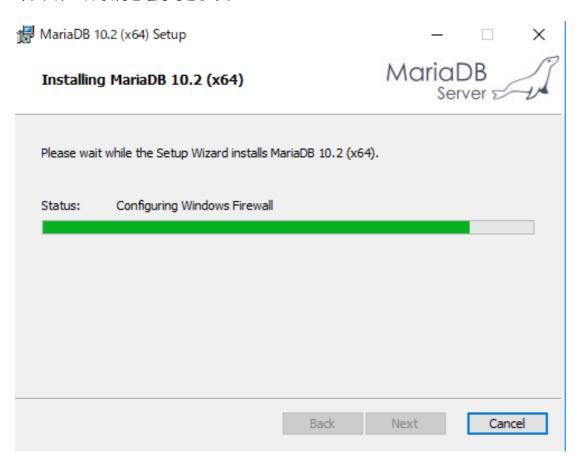
「Next」をクリックしてください。



インストール開始の確認画面が表示されます。 「Install」をクリックしてください。

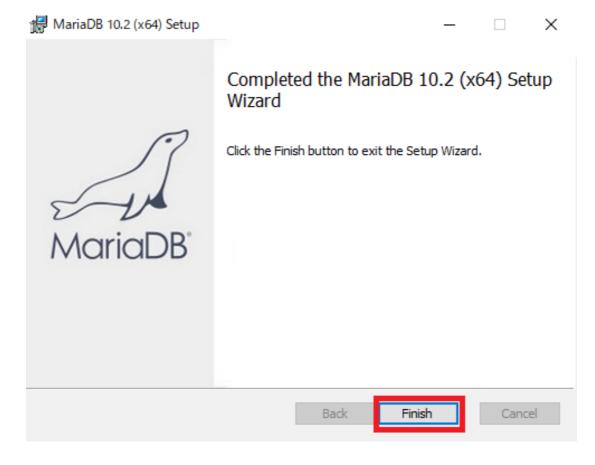


インストール中の画面が表示されます。 インストール状況を確認できます。



インストール完了画面が表示されます。

「Finish」をクリックしてインストーラを終了してください。



以上で、インストール作業が完了します。

### 接続方法

データベースの用語を整理する

データベース

テーブル

レコード

カラム

データベースを操作する

データベースの作成

データベースの一覧

データベースの削除

データベースの切り替え

作業を行うユーザを設定する

create user

grant

テーブルを操作する

テーブル作成

テーブル一覧

構造の確認

様々なデータ型

このセクションでは、テーブルに登録できる型を紹介します。

数值

**INTEGER** 

**NUMERIC** 

文字列

**CHAR** 

**VARCHAR** 

CHARとVARCHARの使い分け

日本語(マルチバイト文字)の取り扱い

日時

真偽値